



発信年月日：令和8年6月24日

所属部課		連絡先	TEL 0837-23-1237
経済産業部 農林水産課			FAX 0837-22-8458
件名	有機水稻栽培における除草作業を省力化する 「アイガモロボ」「ミズニゴール」の実演会を行います！		

本市では、農業の活性化や持続可能な経済及び地域社会の発展に向け、「オーガニックビレッジ」を宣言し、有機農業等の推進に取り組んでいます。

その一環として、JA山口県長門統括本部の「長門有機農業生産部会」において、有機水稻の普及を進めていますが、除草剤を使わない有機栽培では、除草作業の省力化が課題となっています。

このたび、除草作業の省力性、作業性向上に向けて、「アイガモロボ」と「ミズニゴール」の実演会を行いますので、ぜひ、当日取材をお願いいたします。

1 日時

令和8年6月26日(金) 午前10時から

※少雨決行(悪天候により中止の場合はお知らせします)

2 場所

集合場所：JA山口県ラック倉庫(長門市日置中1743番地)

見学圃場：長門市日置中1977番地1(小野地地区) ※谷野和幸氏圃場

長門市日置中793番地3(畑地区) ※ISATOFARM圃場

※集合場所からは全員で圃場へ移動します。

3 主催・共催

【主催】JA山口県長門統括本部、長門有機農業生産部会(NOA)

【共催】長門市未来農業創造協議会(長門市)

4 内容

○アイガモロボによる抑草対策の実演

特徴 水に浮かんだロボットが水田全体を走り水を濁らせることで、太陽光が水底に届かなくなり、雑草の光合成が妨げられ生育が抑制される。除草ではなく「抑草」。機体上部にソーラーパネルを搭載し、太陽光のエネルギーだけで稼働し、GPS機能による完全自動走行により、ほ場全体をムラなくカバーできる。

○ミズニゴール(自動走行除草機)の除草実演

特徴 水田を走り回る自動除草ロボット。走行しながら水田の水を濁らせて、稲の栄養を奪う雑草の光合成を遮りつつ、付属のブラシで田面を引っ掻いて物理的に除草することで環境への負荷なく除草作業を自動化する。

○BLOF理論による有機栽培試験圃場の見学

BLOF理論とは、「細胞を作るアミノ酸」「生命維持に不可欠なミネラル」「生育・施肥を支える土壌」の3つの分野に分けて考察し、科学的・論理的に営農する技術。

「有機栽培は収量が少なくて病虫害に弱い」。そのようなマイナスイメージを払拭し、多収穫・高食味を目指して、昨年秋の土づくりから開始、今年が初の作付けとなる。

入水時に有用菌を入れたことで、水を濁らせ雑草の生育を抑制させる効果についても今回検証を行う。

※BLOF（ブロフ）理論とは：「Bio Logical Farming:生態系調和型農業理論」

①植物生理に基づいたアミノ酸の供給

②土壌分析・施肥設計に基づいたミネラルの供給

③太陽熱養生処理による土壌団粒の形成、土壌病害菌の抑制と水溶性炭水化物の供給による地力の向上により、高品質・高栄養価・多収穫を実現するもの

5 参集範囲

長門有機農業生産部会、生産者、JA山口県長門統括本部、山口県長門農林水産事務所、長門市

6 問い合わせ先

JA山口県長門統括本部指導販売課 担当：古谷 TEL 0837-22-3170

長門市農林水産課 担当：井上 TEL 0837-23-1237

悪天候による中止のご連絡を差し上げる場合がありますので、当日取材いただける関係者様は、事前にご連絡下さい。